

～みんなWINWIN～移動支援で地域活性化

目 概要

各層をターゲットとした移動支援に重きを置くことにより、将来的には地域が活性化してWINWINな環境を作る。自動運転の発展が最大の壁ではあるが、現在5段階レベルのうち、レベル3まで実用化されている。また、各メーカーが力を入れていることにより、遠くない将来(2040年頃)には普及が進んでいると予測される。

・若者

車離れが進み、地方に公共交通機関ではなかなか行けない。

1人でも気軽に行くことができ、その後仲間を連れて再訪する割合が増える。

働き盛りであるため、地方よりも都市部に近い場所を選ぶ傾向にあり、地方では若者の手が足りない。

→

自動運転があれば地方であっても会社に行く手段が増え、通勤中であってもプライベートを保てる。

渋滞であってもドライバーではないため、多くのストレスは抱えることもなく到着まで自分の時間を過ごせる。

・高齢者

年を重ねるごとに、人の活動範囲が徐々に狭くなり孤立状態に発展しかねない。

ただでさえ、若者の独身世帯が増えている世の中のため、今後は高齢者の独身世帯が増える可能性は十分にある。

→

自身が運転をする必要が無くなり、交通事故を引き起こし加害者となるリスクが大いに期待できる。

1人用の車があれば、旅行に気軽に行くこともでき、高齢者でなくても身体にしょうがいがある方でも有効活用ができる。

・ファミリー

共働き世帯が増え、子育てのしやすい街や利便性の高いベッドタウンが選ばれている。

子供のためを考え、保育園/幼稚園・小学校・中学校等が近い場所を検討しなければいけない。

→

送迎車があれば、子供の送迎は必要な時に呼ぶことができる。

社内にセンサーを付け、乗車しているかどうかや、GPSで車両の走行場所や軌跡の追跡が可能になる。

将来像

遠方からの観光者がくる。→地域が経済的に活性化する。

若者、ファミリー、高齢者の方々が協力し合う→地域が賑やかになり、犯罪リスクや孤独のリスクも軽減される。



解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

自動運転技術の発展と社会の理解が最重要

自動運転：


自動車業界がより活性化させる必要があるため、研究施設やテストコースが必要となる。

社会の理解：


アジャイル開発と同じく、テストを繰り返し行い社会に安全なものだという認知を広める必要がある。

 **解決方法**：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

これまではガソリン車が主流のため、動力源となるエンジンを作る必要があったが、ガソリン車の廃止する動きが世界で広まっているため、電気自動車や環境に配慮した自動車が生産される。自動車メーカーでなくとも、電気メーカー等自動車産業に参入しやすい状態になる。テストコースは地方に小さなモデル都市を建設し、24時間監視のもとで行うことで視覚的にも社会の理解が深まると考えられる。

 **類似（独創性）**：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

自動運転、地域活性化活動、リモートワーク普及による地方への移住推進、旅行支援、ウーヴンシティ

 **有意性**：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

ウーヴンシティ

地域に根差した活動のため、より現実性があり何よりも地域の活性化に繋がる。

 **実現方法**：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）


テストコースや時間限定で地方の公道を使用。
地域活性化を広げるためのモデルとしてどこかの地域と協力し、事例を作る。
もしくはモデル都市を建設。

メディアで報道し、自動運転が安全で便利なものだという判断ができるようにテストを繰り返し、ひとつの事例を作る。

ひとつでも事例ができれば他の地域でも取り入れたいという地域が出るため、徐々に増やして世の活性化を行う。

 **課題・障壁**：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

地域とメディアの協力。

 **期間・コスト**：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

期間：自動運転技術の発展は10年20年先かもしれないが、それまでに十分なテストは行える。

協力地域を探すことに時間が必要になるが、協力してもらうことができ実証ができればその時点で初期リリースは完了できる。

以降各地域に適した方法で運用できれば広めることは難しいことではないと考えられる。

コスト：各メーカーも自動運転車が売れることを願っているため、車両を借入。

課題の発見や改善を行うために、カメラやセンサーが必要となるため、各メーカーからの支援とその他地域の協力のためのインフラ設備で1000万~2000万程

 **未来像**：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

概要で掲げた通り、年代層問わずそれぞれが協力しあえる社会を形成することができる。

スーパーなど大きなテナントを構えずとも、自動運転で必要なものが届いたり、大型車両を使用することにより移動販売を行うことも可能となる。